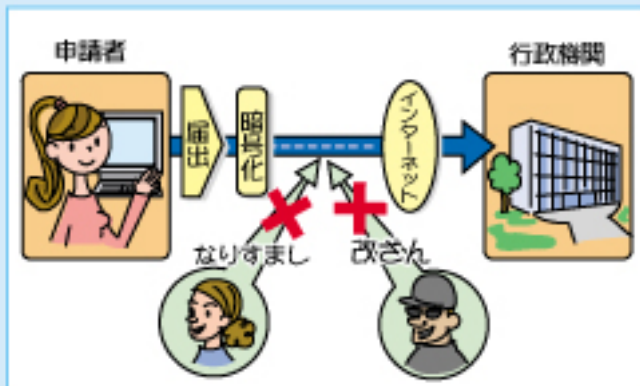


公的個人認証サービスって何？

今後、様々な行政手続がインターネットを通じてできるようになります。この際、他人によるなりまし申請や、通信途中での改ざんなどを防ぐ必要があります。公的個人認証サービスとは、電子証明書を交付することによりこうした機能を全国どこに住んでいる人に対しても提供するものです。



住民基本台帳カードは、個人情報を守るICカードです。

希望する方に市区町村が交付する住民基本台帳カードは、高度なセキュリティ機能を備えたICカードが採用されています。

住基ネットの端末での本人確認や公的個人認証サービスのほか、市区町村が条例で定めるサービスに活用することができますが、カードに記録された情報の覗き見や改ざん、カードの偽造などを防止することができます。



インターネットによる オンライン申請・届出 のイメージ

step1 パソコンから行政機関へアクセス

自宅等のパソコンで、申請や届出をしたい行政機関のホームページを開きます。

※パソコンにはあらかじめ必要なソフトをインストールしておく必要があります。



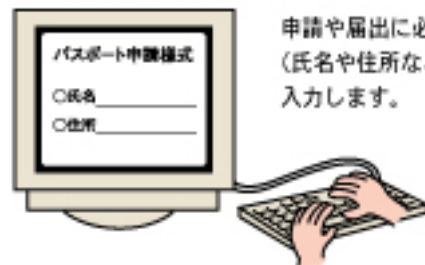
step2 利用したい項目を選択

利用したい申請・届出のページを開きます。



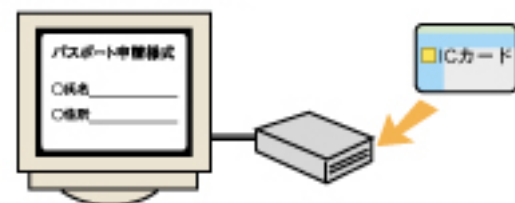
step3 必要事項を記入

申請や届出に必要な項目(氏名や住所など)を入力します。



step4 ICカードをセットし、暗証番号を入力

電子証明書が記録された住民基本台帳カード等のICカードをリーダライタにセットし、暗証番号を入力します。電子証明書は、事前に市区町村役場で申請して、入手してください。(裏表紙参照)



step5 “電子署名”をクリック

電子署名をクリックすると、ICカードとパソコン間で情報がやり取りされます。



クリック

step6 “送信”をクリック

送信をクリックすると、申請書、電子署名、電子証明書が暗号化され、行政機関に送られます。



step7 行政機関で受付

電子証明書の確認や申請書との照合が行われ、申請や届出が受け付けられます。



申請終了!

行政機関で受付